

教区通信

ふくおか

2022(令和4)年11月1日発行

Vol.138

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ **絆** から、広がる **ご縁** へ

—From tying bonds to great encounters—



▲10月25日 第5連区ビハーラ研修会



▲9月26日 全国保護司研修会



▲8月30日 布教大会



▲8月29日 寺院仏教結成に向けた研修会

P2 重点プロジェクト研修会

P3 非戦・平和を学ぶ研修会

P4 福岡教区勤式研修会

P5 中央委員会報告

P6 各組僧侶研修会・推進協議会日程

P7 法話「世界に広がるお念仏」

P8 行事案内・編集後記

重点プロジェクト 研修会

寺院機能推進部 渡邊 慈海(西嘉穂組 西蓮寺)

二〇二二(令和四)年十月十一日、御同朋の社会をめざす運動

(実践運動) 福岡教区委員会による重点プロジェクト研修会が開催されました。現在、宗派と教区で進めている重点プロジェクトである「子どもの貧困」問題について、募金・子ども食堂・学習支援以外の具体的活動のひとつとして、NPO法人おてらおやつクラブの創始者であり代表理事の松島靖朗さんをご講師にお招きして、同NPOについてのお話をいただき、教区内でこの活動に参加しているお寺からの事例紹介を行いました。

お寺には、お供え物としてあがつたものを「お下がり」でいただく、という習わしがありますが、お寺で消化しきれないものを「おすそ分け」するところから、おてらおやつクラブは始まりました。現在は、フードバンク等の貧困問題に関わる支援団体とつながり、その団体に協力をしています。お盆やお彼岸など、お供えが集中する時期に活動を行うことで、お寺側にとっても無理なく続けることができる支援活動で



す。その他にも、コロナ禍の厳しい状況で困窮する世帯へ、匿名配送のシステムを利用して直接支援物資をお届けする活動なども始まっています。

研修は講師ご自身が支援活動に取り組むようになった経緯から、実際におてらおやつクラブで支援する仕組みの解説まで、多岐にわたる内容でした。特に、おてらおやつクラブの活動が、経済的な負担を軽減するだけではなく「一人ではない、誰かが見守ってくれている」という精神的な支えにつながっている、というお話が印象的でした。また、配送業者からも「おてらおやつクラブからの支援物資を届けると、とても喜んでもらえるのでやりがいがある」との声もあり、講題である「頼ってうれしい、頼られてうれしい」という関係につながっています。

貧困問題に関する具体的な支援活動の方法に悩まれておられましたら、是非とも参加をご検討いただければと思います。



おてらおやつクラブの詳細はこちら
<https://otera-oyatsu.club/>

非戦・平和を学ぶ研修会

三好 慶祐(夜須組 眞浄寺)

この研修会は、若い僧侶を対象者として「なぜ、私たちが非戦・平和に取り組むのか」というテーマが設定されていることから、我々が宗門の現状において如何に非戦・平和問題に向き合うべきなのかということが課題となつていくことが窺い知れます。その背景には、十年前に宗門の運動が差別問題、非戦・平和問題を中心として推進されていた基幹運動から、実践運動へと「展開」されたことも大きな要因としてあるのでしょう。そこで今回はテーマを「国家と宗教」私たちの課題」として学びました。

今回は、アフガニスタンなどで京都大学ガンダーラ学術調査隊の一員として仏教寺院の調査をされていた龍谷大学の入澤崇学長をお招きする予定です。講演録『魔性の文明』(二〇〇二年一月十五日龍谷大学お逮夜法要)では、アフガニスタンで出遇われたパシウトウーンの人々との深い関わりが語られ、直前の二〇〇一年九月十一日にアメリカで同時多発テロが起こり、十月七日には米軍を中心としてアフガニスタンへの侵攻が始まった当時の悲痛な平和への願いも語られています。

そこに仏教としての平和への精神を、ブッダの初期経典『大般涅槃経』によって提示されています。戦争でヴァジジ国を屈服させたイマガダ国の阿闍世王が、その正当性をブッダに尋ね、それに対してブッダはヴァジジ族が保持している七つの優れた法をあげ、ヴァジジ族は亡びることはないと言います。それを聞いた阿闍世は戦争を断念します。教えを学ぶことの大切さ、教えに生きることの具

体的なすがたとして示されています。

一方で私たち仏教徒の歴史はどうだったのでしょうか。一九三一年九月十八日に起こった満洲事変に際し、中国仏教会から「今こそ仏の教えを宣揚すべきであり、仏教徒として政府に反対すべきだ」というメッセージが送られてきます。それに対して日本仏教界は、この戦争が「大悲折伏一殺多生の大乗精神にかなったものである」として突き返したのです。つまり、犠牲の論理を「大乘仏教である」としたのです。その反省を即如門主(当時)は「私たちの教団は、仏法の名において戦争を肯定し、あるいは賛美した歴史をもっております。(中略)この事実から目をそらすことはできません」と語られています。

このようなことから、「なぜ、私たちが非戦・平和に取り組むのか」という問いに対して答えるとするならば、「仏法に支えられ、導かれて歩む」から、そして「過去(歴史)に対する反省、慚愧」ということではないかと提起いたしました。

そこであらためて「安倍元首相の国葬問題」から「国家と宗教」について考えてみました。法的根拠や経費の問題等が論点として取り上げられている現況で、私たち念仏者としての問題は何かということ。教えと歴史から「国家のために命を捧げる」ことが「究極的な善」として個人に内面化させる機能を「宗教」が持つことを学べば、国が誰かの死を弔っていいのか、さらに「国葬に値する人」を生み出しているのかという疑問が自ずと生じてくるはずです。つまり、国家が追悼することは平等性の否定であり、それを受け入れることは仏教を放棄することになるのではないかということです。

結論として今回は、教義・歴史に学び続けること、議論・実践の主体的努力を不断に続けることを問題提起とさせていただきます。

福岡教区勤式研修会

「新制 御本典作法」について

福岡教区勤式指導員 和田 法明(御笠組 西福寺)

来年三月二十九日より本山本願寺にて御修行の「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に向けて、福岡教堂で十月六日、本山本願寺式務部課長の榎本昌宏さんを講師に迎え「新制御本典作法」をテーマに勤式研修会を開催しました。

「新制」とは、「親鸞聖人ご誕生八〇〇年・立教開宗七五〇年慶讃法要」の折に制定された「御本典作法」に続く作法という意味があります。そして、この作法では具体的に、①聴くもの、②僧俗共に唱えるもの、③伝統的なもの、④新しいもの、を念頭に、更に静・動の中にリズム感のあるお勤めとメリハリのある構成というこの作法のコンセプトの説明がありました。

次に作法の流れに沿って概略の説明と実唱指導がありました。その中でも作法の幹となる「正信念仏偈」については節によって第一種と第二種の作法が制定されました。第二種の「正信念仏偈」は、既に「正信念仏偈作法」に依用され親しみの深い、いわゆる「十二礼の節」によるものです。第一種は大原声明において用いられた「十二礼(五念門)和讃譜」



といわれる節をもとに、新たな採譜が施されています。この「和讃譜」のお勤めは大衆唱和として親しみやすいお勤めと思いました。

また講義の中で、本願寺声明は代々大原魚山声明をその範とし伝承して参りました。その伝統的な声明の節回しの一端を復活させる声明を意識し、また法要の前後に「御本典作法」の旋律と声明旋律を融合させるという新しい形を取り入れ、法要にご参拝頂く皆様に荘厳な雰囲気の中、伝統的声明を聴いて味わっていただき、共に「正信念仏偈」をご唱和できますことを願っておりますと述べられました。「新制 御本典作法」は伝統を重んじ新しきものを取り入れ次の五十年を見据えた作法だと感じました。

この度の研修会は講師から実唱を交えた巧みなご指導のおかげで、充実した研修会となり、法要へ向けてさらに気運が高まって参りました。法要まであと四、五ヶ月、皆様と共に学び、共に研鑽してまいります。

慶讃法要依用 「新制 御本典作法」



経本は本願寺出版社より発行されており、現在、福岡教堂でも取扱いたしております。

お知らせ

音源は慶讃法要特設サイトよりダウンロードいただけます。

慶讃法要特設サイト

<https://www.hongwanji.or.jp/850800houyou/>

中央委員会報告

中央委員 渡邊 慈海(西嘉穂組 西蓮寺)

二〇二二(令和四)年九月十三日、今年度第一回目の中央委員会
が、リモート形式で開催されました。

まず、宗派の重点プロジェクト「貧困の克服に向けて」Dana for
World Peace〜子どもたちを育むために〜の進捗について報告
がありました。こちらは主に「子どもたちの笑顔のために募金」に
ついての報告で、昨年度の報告と同じ内容のものがほとんどでした
が、新たな点として、今年二月からロシアによる軍事侵攻を受ける
ウクライナの子どもを支援するために壱千万円の支援を行ったこと
が挙げられます。

次に、二〇二二(令和三)年度に富山教区内寺院にて惹起した過
去帳開示問題について、その後の宗派・富山教区での取り組みにつ
いての報告がありました。宗報での周知や、人権啓発推進僧侶研修
会での研修テーマにする等の徹底を行っています。コロナ禍の中、
人権啓発推進僧侶研修会の開催率自体が低い(二〇二二年度は宗派
全体で十二・八%)ため、まだまだ不十分であると感じます。

その他の問題として、熊本教区の委員より、熊本教区報(二〇二
二年一月三十一日付発行)における問題の報告がありました。本来
の意味から逸脱して差別的に扱われてきた過去を知らずに、そのま

ま「盲亀浮木の喩え」を用いてしまったことを反省し、仏典や布教
の現場で用いられる言葉の中にある歴史的背景(差別に用いてきた
現実)にも、しっかりと目を向けていくことを再確認しました。

また、昨年度の各教区・各組の重点プロジェクト進捗に関しては、
コロナ禍の影響が大きく、多くの教区・組の活動が停滞・休止して
いる現状が浮き彫りになりました。貧困問題に関しては、理解不足
や見解の相違、何から始めればよいか分からないといった、実践運
動推進への苦慮があるようです。

全体的に報告事項に終止する中央委員会となりました。リモート
化三年目となりますが、従来の一泊二日の委員会から全体の時間も
大幅に短くなっており、協議の深まりにくさを感じています。

キャッシュレス募金は
こちらのQRコードより
ご覧ください↓



募金箱は福岡教堂のほか、
各寺院にも設置されて
おります。
ご協力お願い
いたします。



2022 (令和4) 年度 「御同朋の社会をめざす運動」 (実践運動)

人権啓発推進僧侶研修会 各組開催日時

組	開催日	会 所
福 岡		
志 摩	2022 (令和4) 年 11 月 4 日 (金) 19:00	専光寺
怡 土		
早 良		
上 下		
宗 像	2022 (令和4) 年 11 月 4 日 (金) 13:00	護念寺
御 笠	2022 (令和4) 年 9 月 13 日 (火) 14:00	光蓮寺
夜 須	未定	
嘉 麻		
東 筑	2022 (令和4) 年 9 月 9 日 (金) 14:00	西念寺
遠 賀	2022 (令和4) 年 12 月 2 日 (金) 13:30	光林寺
三門南	未定	
三門北		
柳 川		
八 女		
下川東	2022 (令和4) 年 12 月 4 日 (日) 15:00	安養寺
鞍 手	2023 (令和5) 年 3 月 3 日 (金) 13:00	未定
粕 屋	2023 (令和5) 年 2 月 予定	妙福寺
那 珂		
西嘉穂		

推進協議会 各組開催日時

組	開催日	会 所
福 岡		
志 摩	中止	
怡 土		
早 良		
上 下		
宗 像	中止	
御 笠	2023 (令和5) 年 2 月 予定	未定
夜 須	2023 (令和5) 年 1 月 23 日 (月) 13:30	筑前町男女 共同参画センター
嘉 麻		
東 筑	2023 (令和5) 年 2 月 5 日 (日) 15:00	千草ホテル
遠 賀	2023 (令和5) 年 2 月 4 日 (土) 13:00	行満寺
三門南	未定	
三門北		
柳 川		
八 女		
下川東	2023 (令和5) 年 2 月 16 日 (木) 15:00	勝萬寺
鞍 手	2023 (令和5) 年 2 月 13 日 (月) 13:00	ユメニティ直方
粕 屋	2022 (令和4) 年 10 月 12 日 (水) 13:30	光雲寺
那 珂		
西嘉穂		

本願寺福岡教堂・福岡教区「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ

今年度も例年より規模を縮小し、法要の様子は **YouTube** にて **LIVE** 配信いたします。
どうぞ教区ホームページよりご視聴ください。

2023 (令和5) 年 1 月 26 日 (木) ～ 28 日 (土)

午後 1 時 法要

26 日 (木) 正信念仏偈作法 第二種

27 日 (金) 宗祖讃仰作法 第三種 (音楽法要)

28 日 (土) 奉讃大師作法 第一種

引き続き 御伝鈔拝読 (28 日は御俗姓拝読)

午後 2 時 御法話 (45 分 × 2 席)

中村 英龍 師

(安芸教区佐伯奥組最広寺住職・本願寺派布教使)

午後 4 時 終了

※帰敬式 (おかみそり) や物産展は中止いたします。

一

言

法

話

「世界に広がるお念仏」

安武 慶哉(東筑組 妙法寺)

能発一念喜愛心 不断煩惱得涅槃
凡聖逆謗齊回入 如衆水入海一味

私は今、京都にあります龍谷大学大学院の博士課程でお勉強をさせていただいております。特に浄土真宗の海外伝道について興味関心があり、研究を進めています。

私が修士課程でお勉強をさせていただいた頃、修士論文にともなう調査を海外の浄土真宗の御門徒の方々や僧侶の方々にいたしました。そんな中ある一人の方が、「阿弥陀様は我々のいかなるバックグラウンドも問わず、まさしくこの私こそを必ず救うと呼びかけてくださっている、だから浄土真宗が好きです」と力強く私に教えてくださいました。島国である日本に住んでおりますとあまり感じませんが、一度日本を飛び出すとそこには様々な文化や風習が共存しており、色々な背景を持った方々がおられます。言葉や見かけは違えど、世界の様々な場所と私と同じお念仏を喜ばれている方が確かにいらっしゃるのだと、その時感動しました。

阿弥陀様は私のいかなる背景や状況も問われませんし、否定されません。「私」の姿をそのままに受け入れてくださいます。たとえ今とは違う状況や背景を持った私であったとしても、阿弥陀様は「我に任せよ必ず救う」と確かに呼びかけてくださるでしょう。人生長いこと生きておれば様々なことがあります。決して上手くいくことばかりではありません。回り道をした時、時には大きな壁に出逢いながらも生きていくことが人生です。その人生を経て、今、「私」というものがあります。今まで生きてきたことを決して否定することなく、「私」を「私」のままに受け止め、かならず救う、と申してくださいる阿弥陀様のお救いに、今私たちはお出逢いさせていただいております。遠く海の向こうで、言語や文化、また背景や状況は違えど、同じお念仏を共に喜ばせていただく方がおられるんだ、と考えさせられる尊いご縁でありました。

福岡教区のホームページが新しくなりました→

<https://www.f-hongwanji.or.jp/>

LINE 公式アカウント ID: @100xlzmt

Twitterアカウント: @f_hongwanji

LINEとTwitterも
できました！

福岡教区教務所の行事案内

2022(令和4)年11月

11月14日(月) 13:30～ 親鸞聖人鑽仰講座(You Tube LIVE配信)
～15日(火)

11月21日(月) 14:00～ 仏教壮年会連盟実践運動研修会

2022(令和4)年12月

12月14日(水) 13:30～ 親鸞聖人鑽仰講座(You Tube LIVE配信)
～15日(木)

2023(令和5)年1月

1月26日(木) 13:00～ 教堂・教区 親鸞聖人報恩講法要
～28日(土) (You Tube LIVE配信 詳細は本紙6ページ)

2023(令和5)年2月

2月14日(火) 13:30～ 親鸞聖人鑽仰講座(You Tube LIVE配信)
～15日(水)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)

第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)

第4期 5月6日(土)～5月11日(木)

第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定は予告なしに変更する
場合がございます。時間が記入されていない部分は未定です。

各行事開催の最新の状況については、主催者へお問い合わせください。

ご来堂の折は必ずマスクをご持参・ご着用ください。

各種行事に際しましては体温測定も実施いたします。

編集 後記

色々と値上がりし、買づらい物、食べづらい物が多くなりました。日常と
切っても切り離せないからこそ影響は大きく、当たり前と思っていたことが
そうではなかったと気づかされます。当たりの有難さを実感します。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 高原 眞見

〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081